



国際ロータリー第2610地区 南砺ロータリークラブ
クラブ会報



なんと

NO. 2141

URL <http://www.nanto-rc.jp> E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 ☎ 53-1334

撮影
写真同好会
片山道代会員



とんぼ

第2201回例会 平成24年11月13日(火) 晴雨定まらず

- ◆点鐘 12:30 中田 修会長
- ◆司会 永井則平 SAA
- ◆ソング 「奉仕の理想」
- ◆ゲスト ナチュラリスト 小原耕造氏

◆会長の時間 中田 修会長

11月6日、次次期会長選考委員会が開催され慎重審議の結果、次次期会長（会長ノミニー）に片山浩一会員が満場一致で推薦されました。なお、当人には快諾をいただきましたのでご報告申し上げます。来月、第2例会「年次総会」でみなさまのご承認を頂く手順と成っていますので宜しくお願いします。

一昨日は第2610地区の地区大会に当クラブからは40名、そして米山奨学生の何穎瑜、ローターアクター2名、インターアクト3名と多数の皆さんの参加を頂き有難うございました。今年度の地区大会は富山大手町RCのホストで富山国際会議場で、地区大会スローガン「たしかな愛を！考えよう、明日のロータリー」をテーマにRI会長代理中村靖治ご夫妻を迎えて開催された。

中尾哲雄ガバナーは大会の目的としてロータリーについての諸問題を討議し、感銘深い講演等を聴き、あわせて交流、親睦を深めることにあると挨拶された。

また、中村RI会長代理は挨拶の中で病で倒れた会員にふれ、もう3ヵ年も闘病生活を強いられ例会に出席できないが生涯ロータリー会員として希望と誇りをもち、病と闘っておられることを話されました。

10日(土)の記念講演で熊本県知事の樺島郁夫氏が「人生は夢」を語られた。氏は9人兄弟の7番目。両親は旧満州から無一文で引き上げて祖母の元に身を寄せ、そこで生まれたそうです。小学生のころは日本の復興も進んでいたが、我が家は白いご飯がたべられず、弁当も一人だけアワの混じった黄色いご飯で「卵ごはん」とからかわれたと幼い頃の苦労話もされた。夢を追いかけることの大切さを話されました。

11日(日)の記念講演は、伊那食品工業(株)代表取締役会長塚越寛氏で「みんなのために」を演題に「良い会社」より「いい会社」、売上高も利益も目的ではなく手段……とユニークな経営哲学をもって48期連続増収増益を達成。その際には高校時代肺結核を患い病と闘っていた時「太陽の下を歩ける人はしあわせだろうな。」と人生観が変わった。地区大会の2日間の研修会、記念講演、懇親会は有意義な時間でした。

(今回の会報担当 松村 寿)

◆幹事報告 渡邊秀一幹事

- ①米山記念奨学会より米山奨学会ニュース受領。
- ②例会変更：砺波RC、射水RC。（会場に掲示）

◆委員会報告

○ロータリー情報

荒井 進委員長

今期予定の2回のうち、上期のFMを11/27(火)6:30~8:00 pm 城端・日本抵抗器別館で開催します。今回は平成23~24年度入会の会員5~6名を中心とし、高野、松井パスト会長ほかにご協力願ひ、これからのロータリーと新しい会員とのコラボレーションをどうするかというテーマで語り合います。今回はお酒は無しとしますのでどうぞ車でお越し下さい。会場は絹織物工場をリフォームしたもので、百年の歴史を思わせる外観の中にオフィスを設けてあります。

○写真同好会

高野 実会員

現在南砺市市展開催中です。写真の部が福野ヘリオスでありますので、例会終了後見に行きますので写真に興味のある方はご一緒にどうぞ。

☆ニつニつボックス

吉田 勉副委員長

- 中田修君 小原さんをお迎えして。先日は地区大会の参加ご苦労さまでした。
- 岡部君 地区大会には当クラブから沢山の方々にご参加いただき成功裡に終わりました。有難うございました。
- 北島君 地区大会の講演会、たいへん感銘を受けました。
- 河合君 11日の地区大会に参加して。
- 松井君 小原さんようこそ、心より歓迎いたします。地区大会に出席、有意義でした。
- 藤田君 卓話当番で小原耕造さんをお願いしました。
- 西川君 小原耕造君を歓迎します。今日は都合により早退します。
- 木本君、税光君/ナチュラリスト小原耕造様を迎えて。
- 高田君 小原さんようこそ。今日はよろしく申し上げます。
- 荒井君 小原耕造さんようこそ。歓迎申し上げます。
- 牧 君 小原耕造さんを歓迎して。
- 古瀬君 毎日スノータイヤ入替大変です。早退します。
- 木勢君、中田裕君/本日早退します。

◆出席報告

上坂武喜委員長

会員数	11月13日出席率	10月30日の修正
56 (免除1)	83.39% (欠9)	87.27% (欠7マーク5)

メーキャップ：岩木、税光、南部、安谷、湯浅の諸君

本日のプログラム 11月20日(火) 第2202回
卓話

丹羽 武会員担当

次回の予定
卓話

11月27日(火) 第2203回

木村伊徳会員担当



縄ヶ池とは

・縄ヶ池は、山崩れで谷川がせき止められてできた堰塞湖で、海拔820m、周囲2km、水深約10mの池である。

水芭蕉が日本の南西限に群生することで、昭和40年1月1日に富山県天然記念物に指定された。

昭和44年5月26日、第20回全国植樹祭が頼成山で行われそのあと天皇皇后両陛下が縄ヶ池の水芭蕉を視察された。

水きよき池のほとりにわが夢のかなひたるかも水芭蕉咲く

(昭和天皇御製)

縄ヶ池の一年 (スライド供覧)

- ・龍の背中から見た春から夏への池。砺波平野も見える。
- ・先週撮影の紅葉が美しい秋の縄ヶ池。春だけでなく秋もぜひ。
- ・初冬の景色
- ・雪景色。毎年2月に歩いて登る。湖上にスキーで立てることも。

- ・池の出口に近い姫社の付近。
 - ・守り神の龍神さん姫社。立山杉の巨木がご神木になっている。
 - ・最初の姫社はもっと下にあった。お祭りは7月15日。
- 縄ヶ池は蓑谷と北野で持つておられ、旧蓑谷公民館横の石碑のところで神主のおまいりがあり、あと姫社でもういちどお参りがある。

縄ヶ池の伝説

延喜18年(918)10月21日琵琶湖の瀬田の唐橋を依藤太(藤原秀郷)が来かかると橋の上に人だかり。見ると大蛇が横たわっているのをそれをポンとまたいで行った。しばらく行くとおじいさん(龍神)が出てきて、あなたは勇気のある人だと近くの三上山を七まわり半巻いて悪さをする大ムカデ退治を頼まれた。その夜藤太が山に登るとゴロゴロと雷が鳴り目をららんと光らせた大ムカデが現れた。一の矢も、眉間をねらった二の矢もパンとはね返された。最後の三の矢を射る前におじいさんの言葉を思い出し、矢のトンボに唾をつけて射たら見事に命中してムカデは七転八倒して死んだ。

藤太はお礼に竜宮城に連れて行かれ何日ももてなしを受け、その上跡取りに望まれたがまだ諸国を廻らねばならぬとことわり、みやげに鎧兜や絹、食べても食べても無くならぬ米に大きな釣鐘などいろいろもらい、私の国では水がなくて大変困っていると言うと、それでは私の子供をやると竜の子をくれた。藤太はそれを腰につけて縄ヶ池まできたら水たまりがあり、そこに龍の子供を放して縄を張っておいたら一夜のうちに池ができた。

縄ヶ池は水の神様

水見は水がないところ、白川地区では日照りには縄ヶ池に水をもらいに来てどこにも寄らずに持ち帰り、龍神の軸を掛けて21日間法要をすると雨が降るといふ。子供のころ遠足で縄ヶ池に登るときにいつも先生に天候が荒れるぞといわれた。

縄ヶ池の植物

ハマボスや特殊なラン、3倍体のユキツバキなど貴重な植物をふくむ約500種類の植生がある。水芭蕉は白い苞の中に果軸あたり500-800の花があり、これが実を結んで黒いタネとなる。地上部は枯れるが地中の根は年に1cmほど伸びる。古いのは200年あまりたっているが、はじめは尾根の道宗道付近の池からキジバトがタネを運んできたものと思う。

会員 藤田 昭君 紹介

城端にはシニア健歩会という大きな団体があり、日帰りのバスで史跡などあちこち見学して高令者の健康づくりの一端となっています。小原さんは解説員として同行されますので、こりゃよい人がおいでたなーと卓話をお願いしたら快く引き受けてくださいました。

小原さんは昭和56年富山県と城端の自然解説員、60年に県野鳥観察指導員、平成11年富山県自然保護協会常任理事、立山カルデラ解説員、15年富山桜を守る会会長そして16年にはギフチョウの里づくりの会事務局長として中田さんと一緒にがんばっておられます。



左上 春の縄ヶ池 左下水芭蕉 右上 秋の紅葉 右下 ユキツバキ

◆縄ヶ池の年表(歴史)

- ・元禄8年8月(1695)芭蕉門下八十村路通来城「折々に 雲まく山のぬなわ哉」
- ・宝暦7年6月(1757)百姓一摸城端騒動勃発
- ・天明2年(1782)香炉嶋尾浦の平に姫社再建
- ・文化12年6月(1815)文政2年5月(1819)上田忠左衛門前田土佐守に水芭蕉献上
- ・明治25-26年(1892-3)蓑谷村に縄ヶ池碑建立
- ・明治29年7月(1896)泉鏡花短編作品「蓑谷」発表
- ・明治36年8月(1903)縄ヶ池の水で水車による索道竣工
- ・大正2年4月(1913)縄ヶ池の水を利用して発電所開設
- ・大正12-13年(1923・4)氷見、白川、縄ヶ池の水を雨乞地蔵に備える
- ・昭和31年5月(1956)作家壇一雄来城、水芭蕉を俳句に詠む
- ・昭和40年1月1日(1965)水芭蕉 富山県天然記念物に指定
- ・昭和43年(1968)縄ヶ池の生物を堀与治・林梅夫両氏が調査
- ・昭和43年(1968)縄ヶ池林道(林道口)開通
- ・昭和44年5月26日(1969)昭和天皇・皇后両陛下は縄ヶ池の水芭蕉視察される
- ・昭和45年(1970)縄ヶ池林道を有料道路とする
- ・昭和46年(1971)天皇陛下歌碑2基建立
- ・昭和47年7月(1972)縄ヶ池竜神火祭り
- ・昭和48年(1973)富山県の自然環境保全地域に縄ヶ池・若杉地域が指定される
- ・昭和48年(1973)水芭蕉「城端町の花」に指定
- ・昭和48年7月作家岩倉正治「田螺のうた」発表
- ・昭和49年9月(1974)西回り歩道開通
- ・昭和53年(1978)陽だまり峠までの歩道開通
- ・昭和54年5月(1979)坂東玉三郎主演映画「夜叉が池」ロケーション
- ・昭和56年5月(1981)城端町ナチュラリスト研究会発足し自然解説始まる
- ・昭和58年1月(1983)「21世紀に残したい日本自然百選」に選ばれる
- ・昭和60年10月(1985)高清水林道開通
- ・昭和61年8月(1986)縄ヶ池の水質調査を富山技術短大が行う
- ・昭和62年7月(1987)山椒魚と井守の調査を金沢大学理学部が行う
- ・昭和62年8月(1987)台風2号により柳大木が倒伏し歩道の被害
- ・平成2年(1990)千年杉の巨木が富山県10選に選ばれる
- ・平成2年9月20日(1990)台風19号で池の上流山崩れで土砂氾濫(被害甚大)
- ・平成4年(1992)縄ヶ池の水芭蕉とヨシの関係を富山大学が調査
- ・平成20年7月28日(2008)集中豪雨で林道・縄ヶ池など過去最大の被害
- ・平成23年(2011)自然解説小屋(組立て式)設置
- ・平成24年9月(2012)外来種の進入調査を中央植物園の指導で行う